小川一真「唐招提寺 破損仏・鼓楼」1888～89年
東京都写真美術館蔵

OGAWA Kazumasa
"Damaged Buddha, the Drum Tower, Toshodaiji-Temple" 1888-89

写された国宝 Image and Essence:

－日本における文化財写真の系譜－

A Genealogy of Japanese Photographers' Views of National Treasures

2000年 11月21日(火)～2001年 1月28日(日)

November 21, 2000 — January 28, 2001

東京都写真美術館 2階展示室

文化財保護法50年記念／東京2000年祭共催事業

TOKYO 2000

開館時間
10:00～18:00(木・金曜日は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで
休館日
毎週月曜日(ただし1月8日は開館・翌9日は休館)
※平成12年12月28日(木)～平成13年1月4日(木)は休館
観覧料
一般500(400)円、小中高校生250(200)円　(　)内は20名以上の団体料金
小学生未満、65歳以上及びお体に障害をお持ちの方とその介護者1名は無料
(証明できるものをご提示ください)

主催：東京都／東京都写真美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
後援：文化庁
協賛：花王株式会社／財団法人 印刷朝陽会／株式会社東芝東京支店／株式会社クマヒラ
協力：株式会社便利堂／株式会社プロラボ・ダック／東武鉄道株式会社／
サッポロビール株式会社／日本油脂株式会社

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3　03-3280-0099
NTTハローダイヤル 03-3272-8600
URL http://www.tokyo-photo-museum.or.jp
交通機関＝JR恵比寿駅東口改札から徒歩約7分(恵比寿ガーデンプレイス内)

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

Commemorating the 50th year since the enactment of the Law for the Protection of Cultural Properties /
The Tokyo Year 2000 Festival Co-sponsored Programs

Opening Hours:
10:00a.m. - 6:00p.m. (Thursday and Friday until 8:00p.m.) Entrance closes 30 minutes before closing time
Closed:
Monday (Tuesday if Monday is a national holiday)
From December 28 to January 4
Admission Fees:
individuals: Adults ¥500 Students (under 18) ¥250 / Groups (over 20): Adults ¥400 Students (under 18) ¥200
The following people may view the Exhibition free of charge,
Children below 6 or adults over 65 (Proof of age may be required).
People with physical handicap certificates and those accompanying them.

Organized by: Tokyo Metropolitan Government / Tokyo Metropolitan Museum of Photography /
The Yomiuri Shimbun/The Japan Association of Art Museums
Supported by: The Agency for Cultural Affairs
Sponsored by: Kao Co.,Ltd. / Insatsu Choyokai Foundation / Toshiba Corporation Tokyo Branch Office / The Kumahira Safe Co.,Ltd.
Cooperated with: Benrido,Inc. / Professional Laboratory DAK / Tobu Railway Co.,Ltd. /
Sapporo Breweries Ltd. / NOF Corporation

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062
phone: 03 3280 0099
NTT Hello-dial 03 3272 8600
URL http://www.tokyo-photo-museum.or.jp

文化財保護法50年記念／東京2000年祭共催事業

写された国宝

－日本における文化財写真の系譜－

Image and Essence:

A Genealogy of Japanese Photographers' Views of National Treasures

2000年は文化財保護法が制定されて50年の記念すべき年にあたります。これは文化財の意味と意義を見直す絶好の機会ではないでしょうか。

長年にわたって多くの写真家が撮影し、残してきた我が国の文化財の写真は、記録として重要であるばかりでなく、文化財の制定にも大きな役割を果たすとともに、多くの人々の文化財に対する関心と理解を広めました。

その歴史は、1872(明治5)年に明治政府によって行われた文化財調査である壬申検査の時に撮影された横山松三郎の写真に始まり、工藤利三郎の「精華苑」、小川晴暘の「飛鳥園」などによる鑑賞を目的として販売された写真、そして自身の個性を発揮して撮影に取り組んだ土門拳、入江泰吉、石元泰博など、明治から現代に至るまで数多くの写真家たちによってつくられてきました。そしてこれらの写真は単に文化財を撮影、記録したことにとどまらず、写真家たちによる芸術の域にまで高められていきました。

本展では、写された国宝や重要文化財の歴史をたどり、それぞれの時代の写真家がどのような視点で文化財をとらえ、表現してきたかを検証し、写真が文化財の指定や保護に果たした役割を明らかにします。さらに現代の私達が獲得している、美術品として文化財を鑑賞する視線＝日本人の美意識がどのようにして生み出されてきたかをさぐります。

入江泰吉「中宮寺 半跏思惟像」1971～77年
東京都写真美術館蔵

小川一真「東大寺 月光仏像」
1888～89年 東京都写真美術館蔵

渡辺義雄「東大寺 鐘楼内部」1969年頃
東京都写真美術館蔵

◎本展巡回予定
2001年 5月17日(木)
～ 7月 1日(日)
――神奈川県立金沢文庫
2001年 7月14日(土)
～ 8月26日(日)
――高浜市やきものの里かわら美術館
2001年10月 2日(火)
～11月11日(日)
――奈良市写真美術館
2002年2月1日(金)
～3月10日(日)
――愛媛県立美術館

次回展覧会のご案内
「ドキュメンタリーの時代」展
2001年 2月 2日(金)～3月29日(木)

坂本万七「法隆寺 釈迦如来座像」1949年
東京都写真美術館蔵

交通機関
JR恵比寿駅東口改札から徒歩約 7分
(恵比寿ガーデンプレイス内)
〒153 東京都目黒区三田1-13-3
03(3280)0099
インフォメーション
http://www.tokyo-photo-museum.or.jp
NTT ハローダイヤル 03-3272-8600
フロアレクチャー
毎月第 1・3 金曜日 14:00～ (1月 5日をのぞく)

土門拳
「神護寺
金堂薬師如来立像頭部」
1972年
東京都写真美術館蔵

石元泰博
「教王護国寺
伝真言院曼荼羅
金剛界 四印会
毘盧遮那如来」
1973年 作家蔵

梅原龍三郎
「法隆寺　聖観音立像」
1929年
東京都写真美術館蔵

◎講演会

日時＝12月10日(日) 14:00 ～ 17:00
場所＝東京都写真美術館1階ホール
「仏像を撮る　飛鳥園と文化財写真」
小川光三(写真家)
「日本近代と『文化財』の誕生」
佐藤道信(東京芸術大学助教授)
聴講無料／先着 190名

◎関連企画

シンポジウム
「画像資料の考古学」
日時＝12月 9日(土) 13:00 ～ 18:00
場所＝國學院大学 100周年記念館3F　AV教室(渋谷区東4-10-28)
■基調講演
「古写真の中の日本」木下直之(東京大学大学院文化資源学研究科)
■ケーススタディ
「東北考古学と柴田常恵」熊谷常正(盛岡大学文芸学部)
「古写真に探る熊本城と城下町」富田紘一(熊本市教育委員会)
「大場磐雄のグラフィズム」山内利秋(國學院大学日本文化研究所)
「画像資料の保存とその意義」青木繁夫(東京国立文化財研究所修復技術部)
■紙上発表
「美術史(特に彫刻史)における写真資料の研究について」
丸山士郎(東京国立博物館資料部)
「新発見の小川一真資料について」塚田良道(行田市郷土博物館学芸員)
■パネルディスカッション
「画像資料研究と保存・活用へ―研究と社会への公開―」
木下直之、熊谷常正、富田紘一、山内利秋、青木繁夫、丸山士郎
司会:岡塚章子(東京都写真美術館学芸員)

聴講無料・定員 200名(申込制)
連絡先・参加希望申込先
〒150-8440　東京都渋谷区東 4-10-28
國學院大学日本文化研究所第 5 研究室 (担当：山内、粕谷)
Tel 03-5466-0356 / Fax 03-5466-9237
E-mail: yamatosh@olive.ocn.ne.jp
http://www.kokugakuin.ac.jp/ijcc/ja/news.html#frontier